

# 第1章 計画策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

「第3次山陽小野田市食育推進計画」の策定は、国や県の食育推進に関する取組を踏まえ、山陽小野田市における食育の総合的かつ計画的な推進を目指すものです。

近年、少子高齢化や世帯構造の変化などの社会の変化により、家庭環境が多様化し、家庭や個人の努力だけでは健全な食生活の実践が困難な状況が生まれています。また、食品ロス※や食品の安全性など、食に関する課題も依然として存在します。

国や県では、健康寿命※の延伸や食の循環、環境への配慮などを柱とした食育の重点施策を掲げ、取組を推進しています。

このような背景のもと、山陽小野田市では、前回までの食育推進計画の評価を踏まえ、本市における食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「第3次山陽小野田市食育推進計画」を策定することとしました。

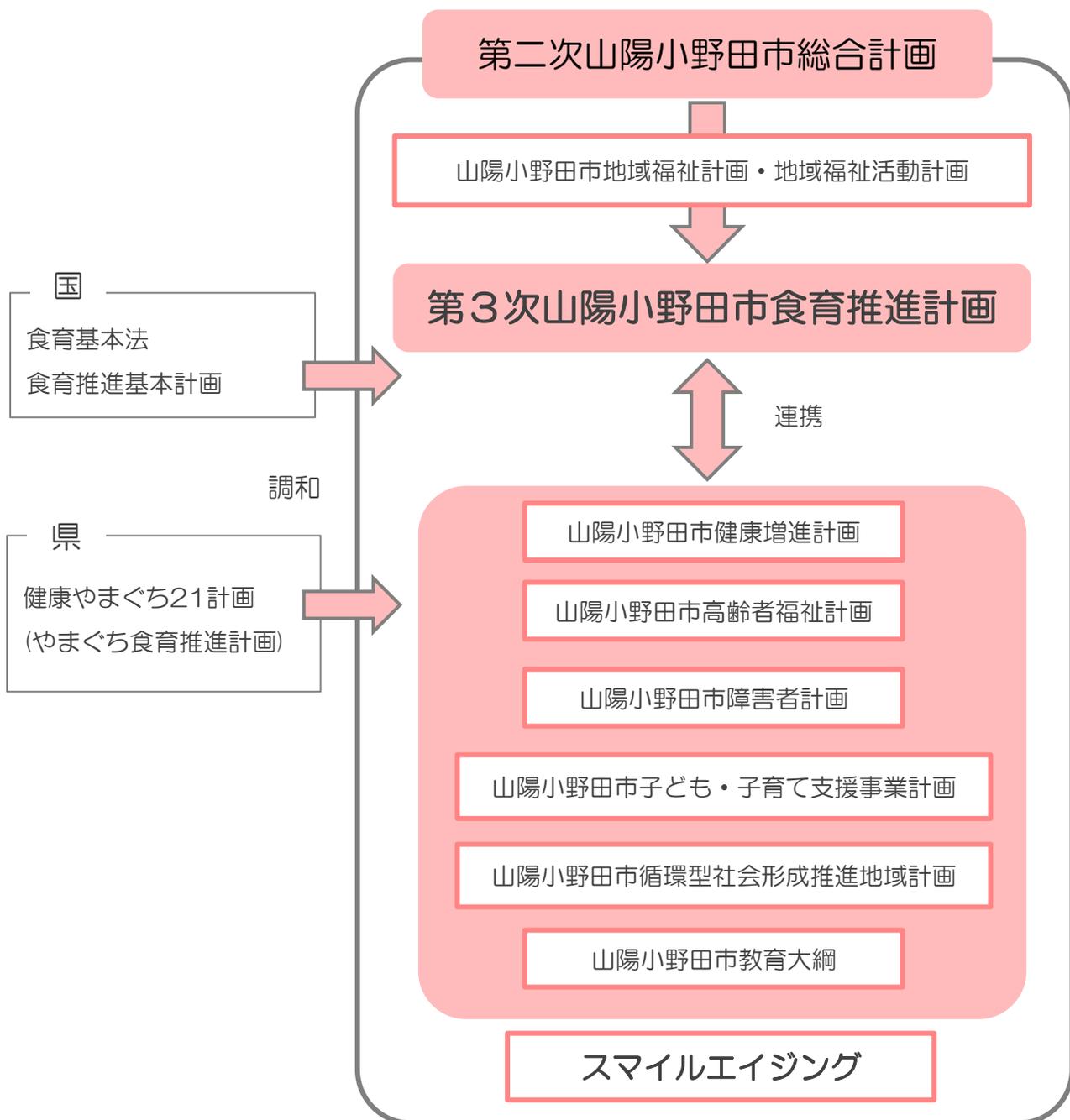
本計画の目的は、市民の健康づくりや食に関する正しい知識の普及、食育の環境整備などを通じて、市民が健康で充実した生活を送るための基盤をつくり、地域社会の発展に寄与することです。

具体的には、市民の食育に関する意識や能力の向上を図り、食生活の改善、地産地消※の推進、環境への配慮、食文化の伝承などを重点課題として取り組むことで、市民が健康で持続可能な食生活を実践できるよう支援します。

さらに、保育園・幼稚園や学校、地域の施設などの食育の環境整備にも取り組み、専門人材の育成や情報発信体制の充実を図ります。

以上の取組により、山陽小野田市は、地域の特性や課題に応じた食育を推進し、市民の健康づくりや食の課題の解決に貢献することを目指します。

## 2 計画の位置づけ



## 3 計画の期間及び評価

この計画の期間は、令和7年度(2025年度)から令和13年度(2031年度)までの7年間とします。評価については、中間評価を令和10年度(2028年度)、最終評価を令和13年度(2031年度)に実施します。また、計画の見直しが必要な場合は、期間中においても検討します。

## 4 計画策定の体制

(1) 山陽小野田市食育推進庁内連絡会での検討

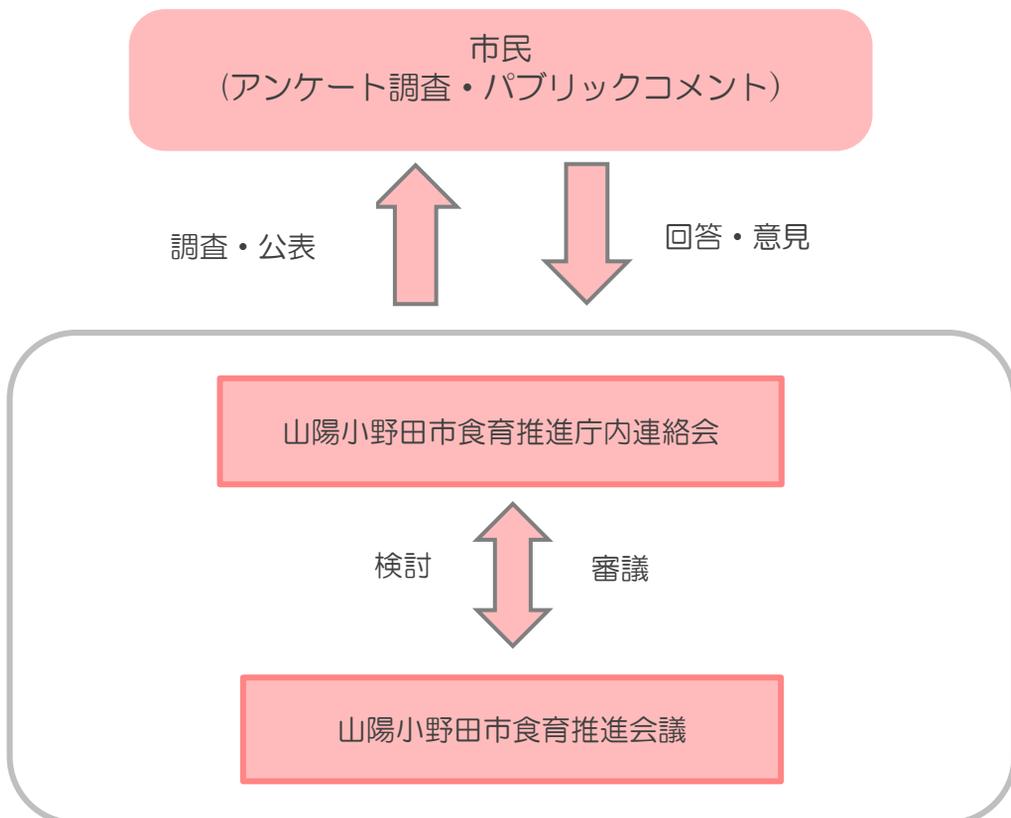
庁内関係各課の代表により、幅広い見地から検討を行いました。

(2) 山陽小野田市食育推進会議での検討

学識経験者、生産者、幼稚園・保育園や学校関係、地区組織等から参画を求め、幅広い見地から市民や関係団体から本計画策定に当たり意見聴取を行うとともに、検討を行いました。

(3) 広く市民から意見を聴取するための取組

市民ニーズを十分に踏まえながら多様な意見を反映させるため、市民の食生活や食育に対する現状を把握するためのアンケート調査を行うとともに、計画に対する市民意見公募(パブリックコメント※)を実施しました。



## スマイルエイジング

スマイルエイジングとは、笑顔(=スマイル)の源となる「心身の健康」を保ちつつ、誰もが笑顔で年を重ねていく(=エイジング)ことで、目標とするものは「健康寿命の延伸」です。「知守」「食事」「運動」「交流」の四つの分野について、それぞれの取組を進めることにより、スマイルエイジングの推進に取り組んでいます。

《スマエジちゃん》



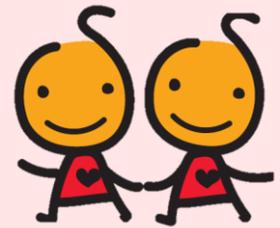
知守



食事



運動



交流

## 食育とSDGsの関係性

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す目標です。世界中の誰もが人間らしく暮らしていくためにやるべき“17のゴールと169のターゲット”から成り、2030年までにやり遂げることが目標とされています。

SDGsの目標には、「目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」、「目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」「目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する」などの食育と関係が深い目標があります。

